★パターン認識・メディア理解研究会（PRMU）

専門委員長　前田英作　副委員長　仙田修司・内田誠一
幹事　大山　航・安倍　満　幹事補佐　近藤一晃・木村昭悟

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会（MVE）

専門委員長　小林　稔　副委員長　亀田能成
幹事　杉本麻樹・酒田信親・三上　弾　幹事補佐　上岡玲子・飯山将晃・木村篤信

☆研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

平成 28 年 1 月 21 日（木），22 日（金）阪大吹田キャンパス銀杏会館〔11 月 4 日（水）〕

（情報処理学会；コンピュータビジョンとイメージメディア研究会，日本バーチャルリアリティ学会；複合現実感研究会連催）

テーマ：安心・安全・健康のための人物センシングと解析

2016 年 1 月の CVIM・PRMU・MVE・SIG-MR 合同研究会では，『安心・安全・健康のための人物センシングと解析』をテーマとして企画します．

近年，自動車の自動運転やロボット掃除機等に代表されるように，我々の日常生活を便利で快適なものにするために，様々なことを自動化する製品や技術が開発されており，そこではカメラ・レンジファインダ・モーションセンサ等，様々なセンサが利用されています．また，以前は「監視」とネガティブに受け取られていた防犯カメラも，近年，事件の捜査で重要な手がかりとなった事例が数多くメディアで取り上げられるようになってからは「見守り」として好意的に受け取られるようになり，現在では街中に無数のカメラが設置されるようになり，それを前提としたシーン理解の研究も多数行われています．一方，そのような社会で暮らす市民に目を向けると，少子高齢化がますます進んでいるのに加えて，子どもが被害者となる事件・事故が目立つようになってきており，子供や高齢者でも安心・安全・健康に暮らすことができる社会の実現が求められています．

このような社会状況を踏まえ，本合同研究会では，カメラを中心とする様々なセンサにより市民の安心・安全・健康に資する最新の研究を俯瞰する本テーマセッションを企画致しました．2020 年に東京で開催されるオリンピックで，このセッションで発表された研究成果が一つでも多く利用されるよう，有意義な発表・議論の場になれば幸甚です．なお，カメラ等のセンサによって取得されるデータに含まれるプライバシー情報の取り扱いに関する研究や議論も，安心・安全な社会に資するものであり，本セッションの対象です．

更に本テーマに関わらず，一般セッションも設定しておりますので，奮って御発表お願いします．

なお，今回は CVIM200 回記念として，CVIM 第 100 回以降の歴代 CVIM 主査 8 名によるパネルディスカッションをはじめとし，様々な特別企画が予定されております．CV と PR，VR，AR の研究者が集う貴重な機会ですので，研究分野の枠を超えた活発な議論の場とするべく，御投稿・御参加をお待ちしています．

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html